

令和5年度(2023年度)農林水産常任委員会管外視察の概要

- 1 視察日 令和5年(2023年)8月29日(火)～31日(木)
- 2 視察者 農林水産常任委員会(6名)
竹崎和虎(委員長)、中村亮彦(副委員長)、西 聖一、
橋口海平、前田敬介、高井千歳

3 視察の概要

(1) 有限会社岐阜コントラクター

当社は、平成10年に設立され、小麦、大豆、菜種、トウモロコシを生産しており、その面積は直営栽培と作業受託を合わせて500haを超えている。

今回の視察では、当社の施設や機械設備、輪作体系及び循環農業の取組等と、子実コーンに係る組合組織の概要や生産、販売の状況等について説明を受けた。

岐阜コントラクターからは、当初の小麦、大豆のみを作付けしていた時期と比べると10年前トウモロコシを入れたことで生産量がかなり伸びたこと、機械については労働の省力化、経費節減を意識しながら導入を図っているとの説明があった。

また、子実コーン組合からは、若い人を中心に組合員が毎年3割程度増加していること、子実コーンの作付面積について今後増加が見込まれることに伴い、ホクレンと業務提携を行ったとの説明があった。



(2) 古平漁港／東しゃこたん漁業組合

古平漁港は、大規模災害時において、緊急物資等の輸送機能の確保及び漁業活動の早期再開を可能とするため、また、衛生管理型の漁港として、ハード面の整備が行われている。

東しゃこたん漁業協同組合は、漁港敷地内の直売所及び食品加工場において、地域水産資源を生かした地域活性化に取り組んでいる。

今回の視察では、古平漁港の耐震強化岸壁等の整備状況及び屋根付き岸壁、荷捌き所等衛生管理施設の整備状況について、また、東しゃこたん漁



業協同組合のブランド化したウニ等の産直事業の実施状況について説明を受けた。

古平漁港の施工者である国土交通省北海道開発局からは、岸壁の屋根設置等による総合的な衛生管理により、異物混入の減少、直射日光遮へい、風雪が凌げることにより作業環境の改善や品質の保持が図られるなどの整備効果があったとの説明があった。

東しゃこたん漁業組合からは、地元で水揚げされる魚介類をなんとか商品化、ブランド化しようという発想から始まった産直事業は、現在は多くの観光客が直売所を訪れ、年間約1億円の売り上げがあるとの説明があった。

(3) 北海道庁

①スマート農業への取組について

北海道では、農業担い手の高齢化や労働力不足などの課題解決策の一つとして、スマート農業技術を活用した農作業機等導入による省力化を推進している。

今回の視察では、スマート農業技術の普及定着状況や関係機関との連携状況等について説明を受けた。

担当課からは、スマート農業の推進を図るため、機器等の専門的知識を有する地域の指導的人材の育成、実証事業の実施、農業改良普及センターへの「スマート農業相談窓口」の設置等を行うとともに、農業者とJAなどの関係機関が連携してスマート農業技術の導入促進を図る体制を構築しているとの説明があった。

②スマート林業への取組について

北海道では、道内の大学、自治体及び林業関係団体・企業などからなる「スマート林業EZOモデル構築協議会」を組織し、国の事業を活用してスマート林業の推進を行っている。

今回の視察では、スマート林業に係るこれまでの取組事例や国の事業を活用して行った高度な林業情報取得の実証、木材の生産管理の効率化の実証とその結果等について説明を受けた。

担当課からは、ICT技術を幅広く活用して高度な林業・木材産業システムを構築することで、森林資源価値の最大化、作業の効率化・省力化及び林業担い手の安定確保等を図り、林業を魅力ある産業としていきたいとの説明があった。



(4) 札幌市中央卸売市場

当市場は 1959 年に全国で 17 番目の中央卸売市場として札幌市が開設した公設市場で、道内唯一の中央卸売市場として札幌圏約 230 万人の食を支えるとともに、北海道という大きな生産地の市場として全国各地に生鮮食品を供給する重要な役割も担っている。



今回の視察では、第 2 次札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクトの内容、輸出拡大に向けた取組、2024 年問題への対応及び「さっぽろ食の安全・安心推進協定」等について説明を受けた。

当市場からは、市場外流通の問題や卸売市場経由率の低下問題については、作付面積や漁獲高の減少など市場を取り巻く環境は厳しさを増しているが、卸売市場が有する機能（集荷、価格形成、分荷及び代金決済等）は生鮮食料品の流通において不可欠なので、第 2 次札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクトにより市場活性化に取り組むとともに、これまでのようなテナント貸しだけという経営形態ではなく、市場機能の強化も含めて官民一体となった新たな取組についても検討していくとの説明があった。